

Contents

高齢者長期ケアの担い手養成政策研究プロジェクト(部会)報告

ドイツにおける高齢者看護師養成・資格制度の歩み

— 高齢者看護師法の職業に関する法律成立まで —

濱島 淑恵、高木 和美、芦田 麗子

I. 本研究の背景 (2)

① 2005年度調査の成果 (3)

② 2011年度調査 (3)

③ 2013年度調査 (4)

II. 2013年度ドイツにおける高齢者看護師改革の歴史的背景に関する研究 (5)

1. 社会事業団体による養成コースの開設 (5)

2. 高齢者看護の職業像の確立と養成教育統一化の動き (6)

3. 連邦レベルでの統一化と高齢者看護教育の高度化
— 1980年代半ば～1990年代 (8)

4. 高齢者看護法成立・施行と高齢者ケアの本質に関する議論 (9)

5. 諸外国の動向との関連 (10)

1) WHOによる「総合的看護師」の推奨 (10)

2) ボローニャ宣言と大学教育化の必要性 (11)

3) EUにおける「職業資格の承認に関する指令」 (11)

III. 日本における看・介護専門職養成制度への示唆 (11)

ドイツ年表 (20)

韓国・ソウル市「社会的経済フォーラム」協同組合セクションでの報告

東京都生協連と東京の生協の「福祉のまちづくり」のとりくみ

吉岡 尚志 (26)

○ WORLD NEWS <83>



- 医療制度改革をめぐる政府と医師組合が対立 (フランス)
- 新労働協約で医師給与引き上げ (アイスランド)
- 医療労働組合が看護職員にアンケート (フィンランド)
- 医療提供体制の二極分化を進める動き (エストニア)

中村 雄二 (31)

- 第42回医療研究全国集会 in 鹿児島のご案内 (35)
- 書籍紹介 (39)
- 研究所機関誌発行形態変更のお知らせ (40)